



所在地：近江八幡市島町

～ エディブル・スクールヤード ～



2018年、エディブル・スクールヤードの^{ていしょうしゃ}提唱者で、オーガニックやスローフードの分野で世界的に有名なアリス・ウォータースさんをお迎えしました。

食べることから学ぶもの

エディブル・スクールヤードとは、一般的に食育菜園を意味します。島小学校では、校庭に農園を整備し、子どもたちが農作物の栽培から収穫、調理して食べることまで一貫して取り組んでいます。また、地域の方々の協力を得て、地域の田畑をフィールドとした農業体験や、伝統食の調理にもチャレンジしています。

食べ物があふれる今の時代、お腹いっぱい食べられることが当たり前のことと思いがちですが、いつも食べているお米や野菜、肉や魚は農家や漁師の方たちの苦勞の積み重ねがあって、私たちの食卓に並んでいます。子どもたちは、作物を育てることがいかに大変なのかを学ぶことで、自然の恵みや命のつながり、食べることができることのありがたさに気付くと共に、地域のコミュニティを大切にする豊かな心を育てています。

食育は生きるための基本であり、知育・徳育・体育の基礎となるものとされ、2005年には食育基本法が制定されるなど、食育に対する関心が高まっています。

島小学校の取り組みが特別なのは、エディブル・スクールヤードと言える取り組みがずっと昔から続けられてきたこと。地域の人たちは食べること、人が生きていくために大切なことを子どもたちに伝え続けてきました。地域ぐるみで未来を担う子どもたちを育てる環境が島学区にはあります。

